



## 子どもたちも参加 ～世代交流マレットゴルフ大会を開催～

7月23日(日)コロナ感染症拡大で開催されていませんでした世代交流マレットゴルフ大会が東和田運動公園マレットゴルフ場で開催されました。晴天に恵まれ小・中学生23名、保護者15名、一般参加者38名、役員、関係者等を含めて約90名が参加しました。

肌を刺すような強い日差しの中で開会式が行われ18組に分れ、順番にコースに向かいました。木々の茂ったコースには涼しい風が吹き抜けマレットゴルフがしやすい環境でした。一般の参加者、保護者、子供たちも一打一打を楽しそうに話をしながら興じていました。

今までコロナ感染症の拡大によりまして、開催出来なかったマレットゴルフができるこ



とのうれしさを感じさせるような大会でした。大会結果は次のとおりです。(福祉健康部)

### ○一般の部

1位	松島 利和 様	西尾張部
2位	山浦 正利 様	東和田
3位	井原 壽行 様	西和田

### ○小・中学男子の部

1位	勝山 知紀 (4年)	東和田
2位	両角 栄汰 (6年)	東和田
3位	勝山 佳哉 (中2)	東和田

### ○小・中学女子の部

1位	大塚 美羽 (6年)	西和田
2位	内山 瑠美 (6年)	東和田
3位	大塚 美愛 (4年)	西和田



## ～災害に備えて～

7月22日(土)古牧公民館集会室において自主防災連絡会防災研修会が開催されました。

出席者は自主防災連絡会役員、各区の区長、副区長、防災指導員と限られた人数ではありましたが、長野市鶴賀消防署東部分署青柳修司分署長様の講演で「地域における自主防災活動」という演題で行われました。

## 防災研修会を開催

まずは消防局の仕事の紹介があり、火災時の出勤だけでなくいろいろな業務があることを知りました。高度救助隊・消防隊・救急隊・特別救助隊・特別消防隊等々、災害の状況により出勤するとの事。

今回は大規模災害時の対応について講演し

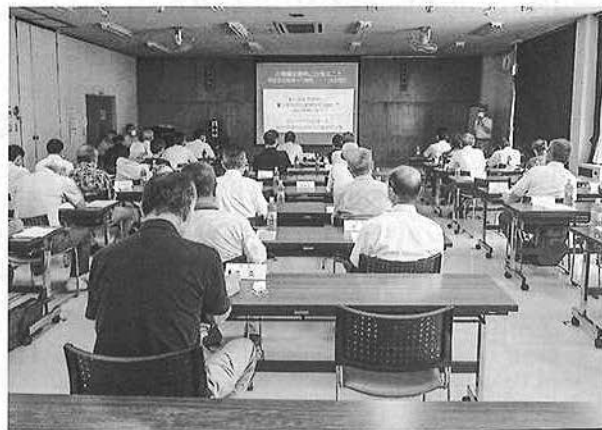
次頁につづく

## 前頁のつづき

て頂きました。古くは地附山地すべり、東日本大震災、御嶽山噴火、熊本地震、静岡県の土石流災害など、日本は地震大国と言われていす。いつどこで発生するか分からない大規模な地震。不定期に発生する局所的な豪雨による浸水害・土砂災害。地球環境の変化によるとされている各種災害が世界各地で頻発しています。これらの災害は長野市にも起こる可能性がとても高い！と言われていす。ではどうすればよいのか？

先ず私たちが住んでいる古牧地区の現状を理解しましょう。いざという時の避難場所を知りましょう。家族で事前に検討し決めておきましょう。非常用持ち出し品の準備をしましょう。等々

突然の地震やゲリラ豪雨などは避けられない場合がほとんどです。しかし、事前の準備や正確な情報を手に入れたり、周囲の人たちの



協力により被害を最小限に留めることは可能です。なるほど！今回の講演はうなずくことが多い有意義な内容でした。いざという時の為に何をしたらよいのか？考えることを教えて頂きました。

なお、8月に長野市から1000年に一度の水害を想定したハザードマップが各家庭に配布されております。ご家族で水害に備えお住いの地域を確認してみてください。（総務部）

## 1日370トン!?

7月20日(木)環境美化部で「ながの環境エネルギーセンター」を視察してきました。ご存知の方も多いかもしれませんが、この施設は大豆島地区の松岡区にあり、2019年9月に稼働開始しています。こちらの施設では、長野広域連合を構成する飯綱町、小川村、信濃町、小布施町、坂城町、須坂市、高山村、千曲市、長野市のうち、小布施町、坂城町、千曲市を除く6市町村のごみを焼却しているそうです。信濃町からも運んできているとは知らず、少々驚きました。

当日は、施設を運営する(株)EcoHitzながの



クレーンによるごみのかくはん

の担当者様から説明をいただきながら工場棟を見学しました。この施設では、2800トン(7日分相当)のごみをストックしておくことが可能だそうです。一日に延べ300台の車両、およそ370トンのごみが運び込まれます。施設には焼却炉が3台あり、一日に405トンのごみを焼却することが可能とのことでしたが、令和元年東日本台風災害の際は、焼却が間に合わず、他の自治体にごみを運搬したとのことでした。

環境面では、ごみ焼却時に発生する排ガスの熱エネルギーをボイラーで蒸気エネルギーに変換し、蒸気タービン発電機により発電しているほか、蒸気の一部を隣接するサンマリーンながのに供給し、エネルギーの有効活用を図っているとのことでした。

私自身、普段から煙突は遠くから見ていますが、実際に施設内を見学するのは初めてで大変有意義な視察研修だったと思います。

なお、こちらの施設は個人見学も可能とのことですので、興味のある方は訪ねてみてはいかがでしょうか。（環境美化部）

## 人権・男女共同参画セミナー = 高齢者介護を社会全体で支えあう =

7月26日(水)古牧公民館において「人権・男女共同参画セミナー」が開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから初めての開催となりましたが、昨年度と同様に古牧12地区から区長ほか代表者の皆さんが出席しました。

今年度は、信州大学教育学部名誉教授の松岡英子先生に「高齢者介護と男女共同参画」と題して講演いただきました。いま高齢者の割合が増えるなか、

- ①男女共同参画とは
- ②なぜ男女共同参画が必要なのか
- ③ジェンダーと介護問題
- ④介護の現状とこれから
- ⑤男女でつくる福祉のまちづくりの各テーマについて学びました。「男女の役割

や能力に関する思い込みや偏見」は時代とともに変わってきているものの「見方・感じ方・さまざまな無意識の思い込みに対して敏感になること」が大切であること。高齢者の介護にあっては「家族の誰か一人に任せることの無いよう全員で行うこと」、また、介護を抱える家庭を社会全体で支えあう仕組み「近隣や地域で工夫した福祉のまちづくり」の重要性を感じました。

(人権・男女参画部)



## 歴史探索

# ぐるりわがまち

## 西尾張部区

### 八幡神社

古牧郷土史研究会 村田 修一

八幡神社は昭和32年(66年前)公開された高峰秀子さん主演映画「喜びも悲しみも幾年月」にロケ地として鳥居・柳と川中島バスと共に登場しました。(写真①)先般、「お茶のみサロン」にてこの映画を上映したところ大変懐かしく皆さんに喜んでいただきました。

西尾張部区の神社は、古来より上水内郡古牧村大字西尾張部字に八幡神社(村裏)・若宮八幡神社(若宮)・春日社(村東)の3社があり、明治41年12月に村社として区民の浄財の寄進により当地字村西332番地の田1反22歩を境内地とし、上記3社を合併し建立しました。明治42年1月11日、社号を八幡神社と改称の許可を受け、昭和27年神社庁に帰属し村社となりました。昭和44年茅葺き屋根の痛みがひどく馬場板金さんにより鉄板葺朱色塗装の屋根に生まれ変わりました。その後、何度か屋根の塗装替えをして維持されております。境内両側にあった柳は腐食空洞化が進み平成30年に伐採となりました。令和2年には、鳥居の腐食

が進み倒壊の危険が予想されることから塩化ビニール製の鳥居を建立しました。祭神は大変多く七神があります。

- ① 誉田別尊ほんだわけのみこと：八幡大菩薩 = 応神天皇
- ② 息長足姫命いきながたらしひめのみこと = 神功皇后
- ③ 大雀命おおさざきのみこと = 仁徳天皇
- ④ 天兒屋根命あまのこやねのみこと = 春日権現
- ⑤ 経津主命ふつぬしのみこと = 香取神宮(軍神)
- ⑥ 武甕槌命たけみかづちのみこと = 鹿島神宮(武神)
- ⑦ 若姫命わけひめのみこと

年中行事は、次の通り八幡神社代表役員倉澤神官様により執り行われております。

- ① 元旦祭 1月1日
- ② 祈年祭 4月29日
- ③ 例祭・交通安全祈願祭 9月(第3日曜日)
- ④ 大祓祭・感謝祭 12月(第1日曜日)

次ページへつづく

前頁のつづき

西尾張部区民崇敬の産土神としての八幡神社は、農業主体だった時代の先祖から伝承され



写真①

て現在の住宅地となった町であります。次の世代に引き継がれることを願っております。  
※神名は別の書き方、読み方もあります。



## ～地域のつながりで健康なまち古牧へ～ 参加者募集中

福祉健康部では、古牧地区の皆さんが生きいきと動ける体づくりを目標に「健康づくり大会」を開催します。

現在参加者を募集しております。健康づくりに関心のある方は、是非、ご参加ください。

日時：10月7日(土)9:00～12:30

場所：古牧体育館(古牧小学校西)

「ラジオ体操のポイント」(講師はラジオ体操指導士 池田さん)

「体力・健康チェック」(測定結果に応じて専門家がアドバイス)

「AC長野パルセイロ・レディースのみなさんと一緒にボールで運動&ミニゲーム&ジャンケン大会」(ミニゲームは小学生以上が対象)

持ち物：上履き用の運動靴、水分(動きやすい服装着用)

申し込み締め切り：9月15日

問合せ：古牧地区ボランティアセンター ☎244-8159



(福祉健康部)

### 娑婆鉛筆 第二の故郷 長野市

夫の転勤に伴い、長野市に来てから20年が経ちました。私にとって大きな出来事は、相次ぐ両親の他界、夫の新たな道への挑戦、3人の子育てです。

私は南信の高森町の出身で、長野市に来た当時、友だちや両親、姉が近くにいない生活は、寂しくもあり、また、年子の子育ては大変に感じておりました。今では、夫の子育

てへの協力、また、子どもたち、夫を通じていただいた良きご縁、地域の方々や学生時代以来の硬式テニスや仲間の方々との出会いにより、人生を楽しませていただいていることに感謝しております。

今年は、暑い日が続いておりますが、丈夫な体に産んでくれ、いつも見守ってくれている両親に感謝しながら、テニスで培った体で、この夏を乗り越えて行けたらと思います。

(小泉 英子)

## 9月から10月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



### 古牧地区の世帯数と人口

令和5年8月1日現在

11,808 世帯

26,234 人

(男 13,021人 女 13,213人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会  
(電話 259-8359・FAX 219-1057)  
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 田中 邦夫  
■編集 ぷらネットこまき編集委員会  
■印刷 SR



HP  
ご覧ください